

『柏崎市 水 ビジョン～経営戦略～（案）』パブリック・コメント一覧表

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画への反映
1	<p>人口減少傾向に伴い、水道の使用量も減ってくるかと思います。その場合、収入を水道使用料金に頼るだけでなく、複合的な事業で収入を得ることが必要と考えます。</p> <p>1 柏崎の水道水は美味しい。その長所を生かして「たんねの水」として、ペットボトル等で販売する。</p> <p>2 谷根ダムの放水されている水で、小水力発電を行う。</p> <p>3 柏崎の水道水は、東京電力の原子炉用に一次冷却水として、供給していると聞いています。飲料水に利用しない一次冷却水用だけでしたら、送水管内数か所に小水力発電装置を設置し発電を行う。</p> <p>4 小水力発電装置が一般水道の送水管内に設置が可能なら、送水管布設工事時に水道管内に発電装置を設置して発電を行う。</p> <p>5 下水道の汚泥からはガスが発生すると思います。そのガスを集め、汚泥ガス発電を行う。</p>	<p>御意見のとおり、水道・下水道ともに料金収入以外に収入を得ることは非常に重要なことと考えております。</p> <p>御提案の2、5番などは既に実施しておりますが、今後もいただいた御意見を参考とした上で、あらゆる可能性を探りながら、料金の改定率を低く抑えるよう、努力を重ねてまいります。</p>	無し